

The COMPASS

新たな時代におけるプライベート・マーケットでのリターン追求



2024年12月

Amundi Investment Institute

財務パフォーマンスと、より広範な社会的改善の両立を求め、年金基金は、価値創造を推進するツールとしてプライベート・マーケットを活用している。

プライベート・マーケットは投資家の戦略見直しで恩恵を受けるであろう

- ・ プライベート・マーケットは、その潜在的な長期リターンと分散効果により、年金基金からの支持が高まっており、今後3年間で戦略的配分の大幅な増加が見込まれている。
- ・ プライベート投資においては、その強固なエコシステムに基づき米国の年金基金がリードしているものの、サステナブル・プロジェクトでは欧州がリード、そしてアジア太平洋地域が続いている。最も魅力的な資産クラスはプライベート・デットで、プライベート・エクイティ、インフラストラクチャー、不動産があとに続く。
- ・ 地政学的リスクや急速に変化するマクロ経済環境などの課題にもかかわらず、プライベート・マーケットは魅力的な投資機会を提供すると考えられており、財務的リターンと社会的インパクトのバランスをとるために総合的なアプローチが必要とされている。



MONICA DEFEND
HEAD OF AMUNDI
INVESTMENT INSTITUTE

資産運用会社は、機関投資家から、リスク調整後での高い長期目標リターン、追加的な分散効果、ファンダメンタルな価値創造をバランスさせた、洗練されたプライベート・マーケット戦略を開発するよう求められている。

[アムンディ／クリエート・リサーチ](#)の最新の[グローバル機関投資家調査](#)によると、調査対象となった年金基金の74%がすでにプライベート資産に戦略的に投資している。この比率は3年以内に86%まで上昇すると予想されており、機関投資家のポートフォリオにおけるプライベート・マーケット市場の重要性が高まっていることを示している。

プライベート市場投資においては、北米の基金がリードしている。特に**米国は、依然、プライベート投資の中心地である**。その強固なエコシステム（大きな資本と人材の蓄積、支援的な規制の枠組み、画期的なイノベーションにおけるリーダーシップなど）は、多くの機関投資家の資本を魅了している。

欧州は、特に脱炭素化とサステナブルなインフラ・プロジェクトにとって、米国に次ぐ2番目に有望な投資先であり、アジア太平洋地域が後に続いている。

2022年から2023年にかけての急激な利上げによって、プライベート・マーケットの環境は根本から変化し、課題と機会の両方を生み出した。

プライベート投資の伝統的なドライバーは、大きな変革期を迎えている。これまでの戦略がフィナンシャル・エンジニアリングやマーケット・バリュエーションの上昇に大きく依存していたのに対し、**投資家は現在、より根本的な価値創造を求めている**。その焦点は、最良なオペレーションを通じてサステナブルな成長を実現し、革新的なグローバル・トレンドに合致する企業や資産を見極めることに移っている。

「4D革命」と呼ばれるこれらのトレンドには、**脱炭素化、デカップリング、人口動態、デジタル化**が含まれる。年金基金は、こうした大規模で複雑な世界的課題に直接取り組むことができる、プライベート・マーケット内で純粋に業務を進めている企業をますますターゲットにするようになってきている。

調査では、今後3年間における投資選好度合いの資産クラス別の違いが見えてきた。**最も魅力的で選好度合いが高い資産クラスはプライベート・デットで**、回答者の55%が強い関心を示している。ヘルスケア、再生可能エネルギー、社会インフラといったセクターは、不安定な市場環境の中で比較的安定したリターンを提供しており、特に魅力的と評価されている。

プライベート・エクイティがこれに続き、49%の基金が、主にグロース・エクイティに重点を置いた投資拡大を検討している。**革新的な企業であっても、長期間、未上場を継続するケースも多くあり**、一握りの大型テクノロジー銘柄に支配されつつある上場市場に代わる魅力的な選択肢となっている。

インフラストラクチャーと不動産は、その次の選好度として注目されている。特にインフラストラクチャー分野は、再生可能エネルギー、蓄電池、グリーン水素プロジェクトなど、脱炭素化への取り組みとの連携で注目を集めている。

ベンチャーキャピタルは、依然、投資対象の一部ではあるが、最も大きな見直しが行われた。強い関心を示している基金は28%に過ぎず、これは最近の市場の混乱と大規模なユニコーン創出の時期を過ぎ、基金が、より慎重なアプローチをとっていることを反映している。

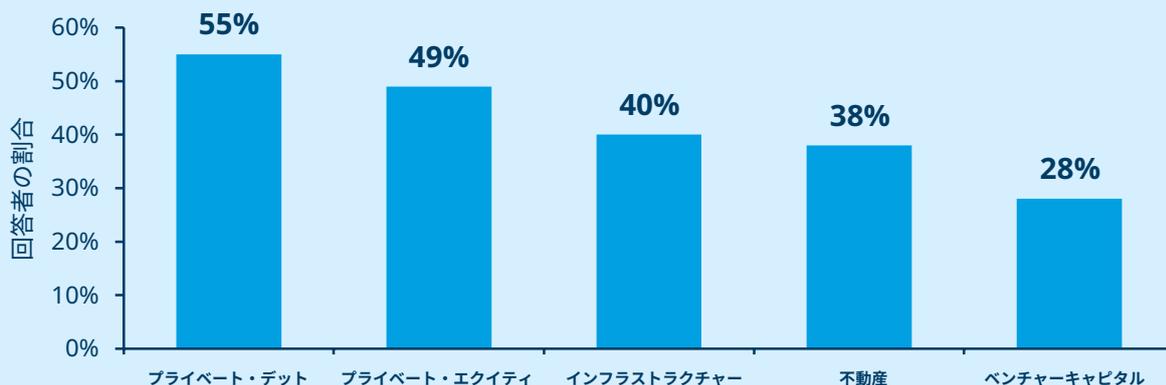
一方で、投資家は、抱える課題への取り組みも意識している。米中間の競争や、サイバーの脅威や脱グローバル化の進展といった新たな地政学的リスクは、投資戦略を根本的に変えている。金利動向も引き続き重要な役割を果たしている。長引く高金利環境は、特にプライベート・エクイティの出口戦略に影響を与え、新規株式公開市場やファンドの満期スケジュールに課題をもたらしている。伝統的なプライベート・エクイティの手数料体系も精査の対象となっており、投資家はより高い透明性と利害の一致を求めている。

とはいえ、年金基金の間のコンセンサスは明確で、プライベート・マーケットは、パブリック市場のオルタナティブという位置づけを超える魅力的な投資機会を提供している。中央銀行が金利の正常化を開始し、インフレが安定するにつれて、投資家は、プライベート・マーケットに、より予想可能なリターンと戦略的分散投資の可能性を見出している。

年金基金は、価値創造を推進する洗練された投資ツールとしてプライベート・マーケットを活用し、財務パフォーマンスとより広範な社会的改善の両立を求め、より洗練された資産運用会社への依存度を高めている。プライベート投資の新時代においては、より総合的なアプローチが要求され、その成功は、有意義な経済的・技術的変革を推進する企業を特定し、支援し、積極的に導く運用会社の能力によって形成されることになろう。

プライベート・デットがプライベート・マーケットに対する機関投資家の関心をリード

今後3年間で、どのプライベート・マーケットの資産クラスへの配分を増やす予定ですか？



出典：アムンディ・インベストメント・ソリューションズ/CREATEリサーチ調査、2024年。



With the contribution of **Giulio Lombardo**
Publishing Specialist,
Amundi Investment Institute

Click [here](#) to read the
full-length paper

IMPORTANT INFORMATION

This document is solely for informational purposes. This document does not constitute an offer to sell, a solicitation of an offer to buy, or a recommendation of any security or any other product or service. Any securities, products, or services referenced may not be registered for sale with the relevant authority in your jurisdiction and may not be regulated or supervised by any governmental or similar authority in your jurisdiction. Any information contained in this document may only be used for your internal use, may not be reproduced or disseminated in any form and may not be used as a basis for or a component of any financial instruments or products or indices. Furthermore, nothing in this document is intended to provide tax, legal, or investment advice. Unless otherwise stated, all information contained in this document is from Amundi Asset Management S.A.S. and is as of 3 December 2024.

Diversification does not guarantee a profit or protect against a loss. This document is provided on an "as is" basis and the user of this information assumes the entire risk of any use made of this information. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance analysis, forecast or prediction. The views expressed regarding market and economic trends are those of the author and not necessarily Amundi Asset Management S.A.S. and are subject to change at any time based on market and other conditions, and there can be no assurance that countries, markets or sectors will perform as expected. These views should not be relied upon as investment advice, a security recommendation, or as an indication of trading for any Amundi product. Investment involves risks, including market, political, liquidity and currency risks. Furthermore, in no event shall Amundi have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential (including, without limitation, lost profits) or any other damages due to its use.

Date of first use: 17 December 2024.

Document ID: 4107328

Document issued by Amundi Asset Management, "société par actions simplifiée"- SAS with a capital of €1,143,615,555 - Portfolio manager regulated by the AMF under number GP04000036 - Head office: 91-93 boulevard Pasteur - 75015 Paris - France - 437 574 452 RCS Paris - www.amundi.com.
Picture courtesy of Gettyimages : ipopba

Amundi
Investment Solutions

本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・インベストメント・インスティテュートが一般・参考情報の提供を目的として作成した資料を弊社が一部翻訳したものです。

本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入・売却の勧誘を目的としたものではありません。

本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

本資料中に記載したアムンディ・インベストメント・インスティテュートの見通し、予想、予想意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第350号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

日本証券業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会